

大島の概要

大島は九州の神湊漁港からフェリーですぐです。島はコンパクトで散策しやすく、主要な名所を結ぶハイキングコースがあります。九州と聖なる島・沖ノ島の間位置しており、太陽神・天照大神の長女、田心姫神が祀られています。沖ノ島は宗教的な重要性から、一般には公開されていません。そのため、訪れることが出来る場所の中で、大島が沖ノ島に最も近い所です。

中津宮

沖ノ島と大島は、辺津宮がある海沿いの宗像と、線で結ばれています。重要な17世紀の神社の中津宮は大島の南側にあり、御嶽山の麓に位置しています。この神社は天照大神の三人の娘の次女・湍津姫神を祀っています。中津宮と大島は、九州の本宮と遠く離れた沖ノ島をつなぐ役割を果たしています。

沖津宮遥拝所

島の反対側には沖ノ島に面した断崖に拝殿(遥拝所)があります。この拝殿は沖津宮遥拝所として知られており、沖ノ島にある沖津宮に参拝者が近づける最も近い場所です。遥拝所は年間を通じて参拝者を受け入れており。春季大祭と秋季大祭を含めた年に数回、神社の扉が開かれ、ぴったり額縁に入った様な沖ノ島を見ることが出来ます。

馬蹄岩の伝説

沖津宮遥拝所からさほど遠く無い場所には馬蹄岩と呼ばれる平らに露出した岩があり、表面に馬蹄形の跡があることから名付けられました。伝説では田心姫神を乗せた馬が、岩から沖ノ島に飛び降りたときに刻印されたと伝えられています。馬蹄岩から少し離れたところに、風車展望台と砲台跡があります。第二次世界大戦中に監視に使用された砲台跡からは、晴れた日には沖ノ島の壮観な景色を見ることができます。